

2020年3月期(第44期) 決算説明資料



石英ガラスが、
世界を変える。
テクノオーツが、
その未来を支えている。

JASDAQ:5217

テクノオーツ株式会社

- 1. 2020年3月期決算**
- 2. 2021年3月期業績予想**
- 3. 半導体市場予測**
- 4. 中長期的な成長戦略**
- 5. 新型コロナウイルス感染症対策**

1. 2020年3月期決算

1-1 経営成績(連結)

経営成績(単体)

売上推移(単体)

総資産額・純資産額(連結)

設備投資額・減価償却費(連結)

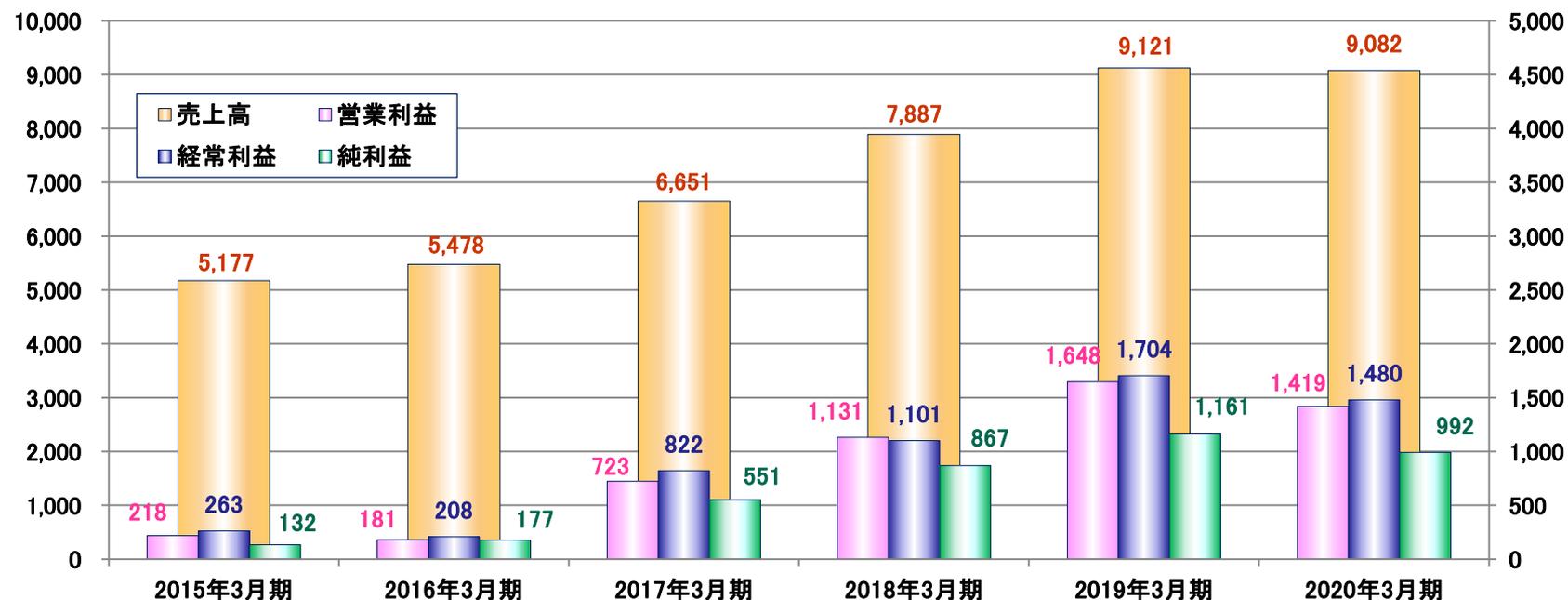
1-2 その他

1-1 経営成績(連結)

(単位:百万円)

	2018年3月期 (第42期)		2019年3月期 (第43期)		2020年3月期 (第44期)	
売上高	7,887	18.6%	9,121	15.7%	9,082	△0.4%
営業利益	1,131	56.4%	1,648	45.7%	1,419	△13.9%
経常利益	1,101	33.9%	1,704	54.7%	1,480	△13.1%
純利益	867	57.1%	1,161	33.9%	992	△14.5%

注)%表示 対前年同期比増減率

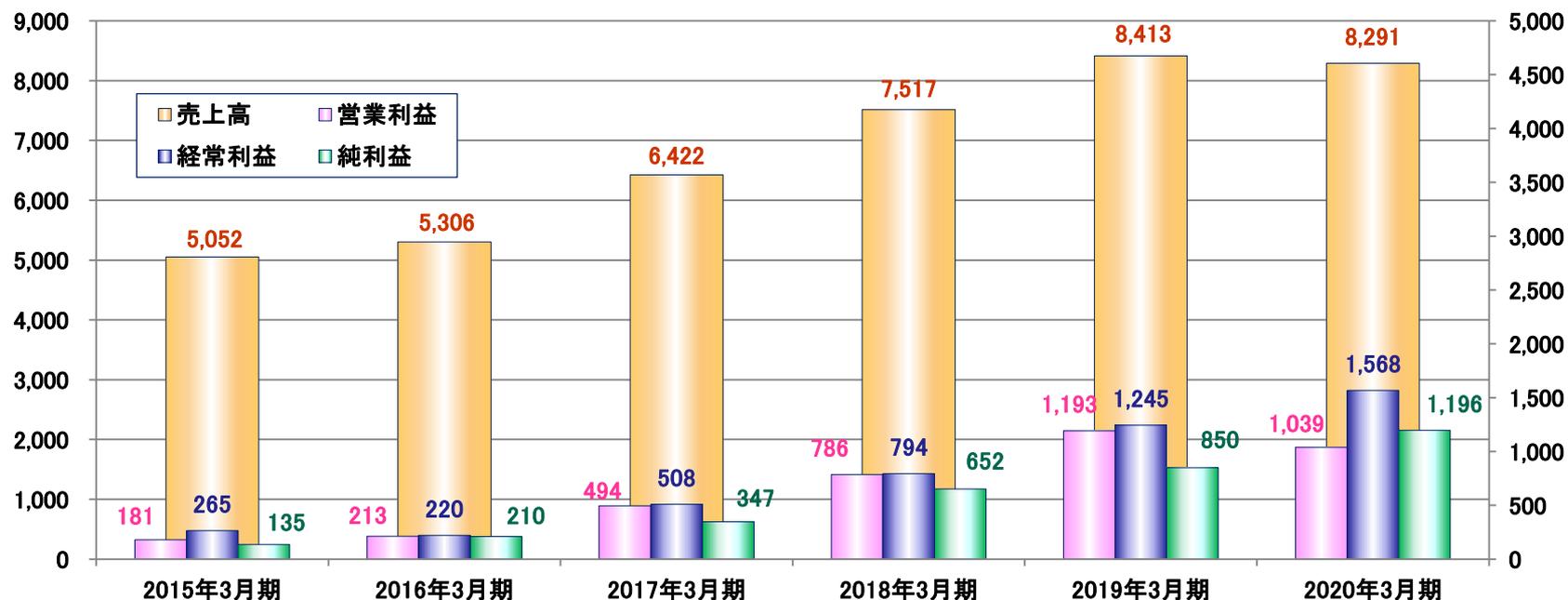


1-1 経営成績(単体)

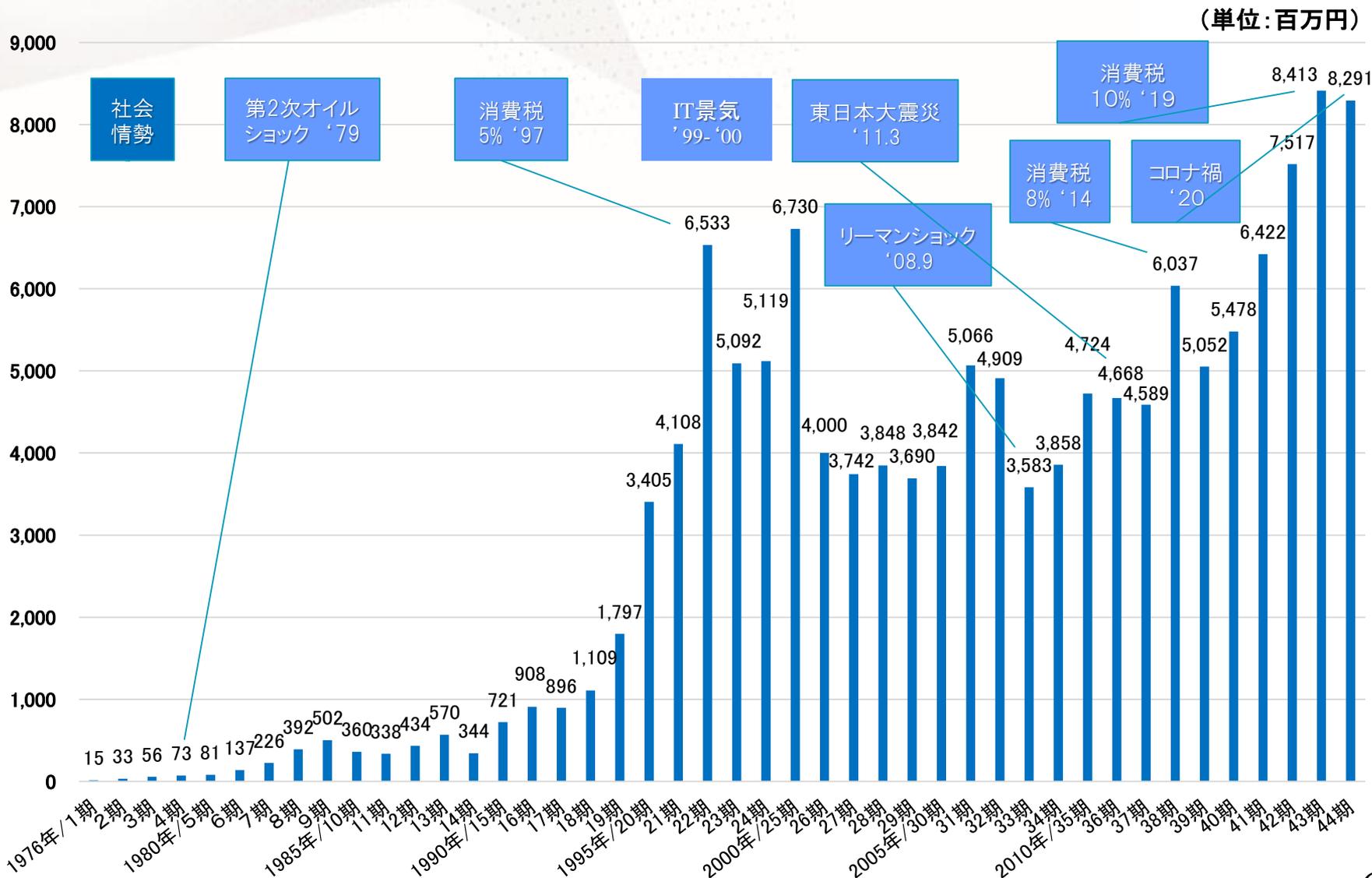
(単位:百万円)

	2018年3月期 (第42期)		2019年3月期 (第43期)		2020年3月期 (第44期)	
売上高	7,517	17.1%	8,413	11.9%	8,291	△1.5%
営業利益	786	59.0%	1,193	51.8%	1,039	△12.9%
経常利益	794	56.2%	1,245	56.7%	1,568	26.0%
純利益	652	87.8%	850	30.4%	1,196	40.6%

注)%表示 対前年同期比増減率



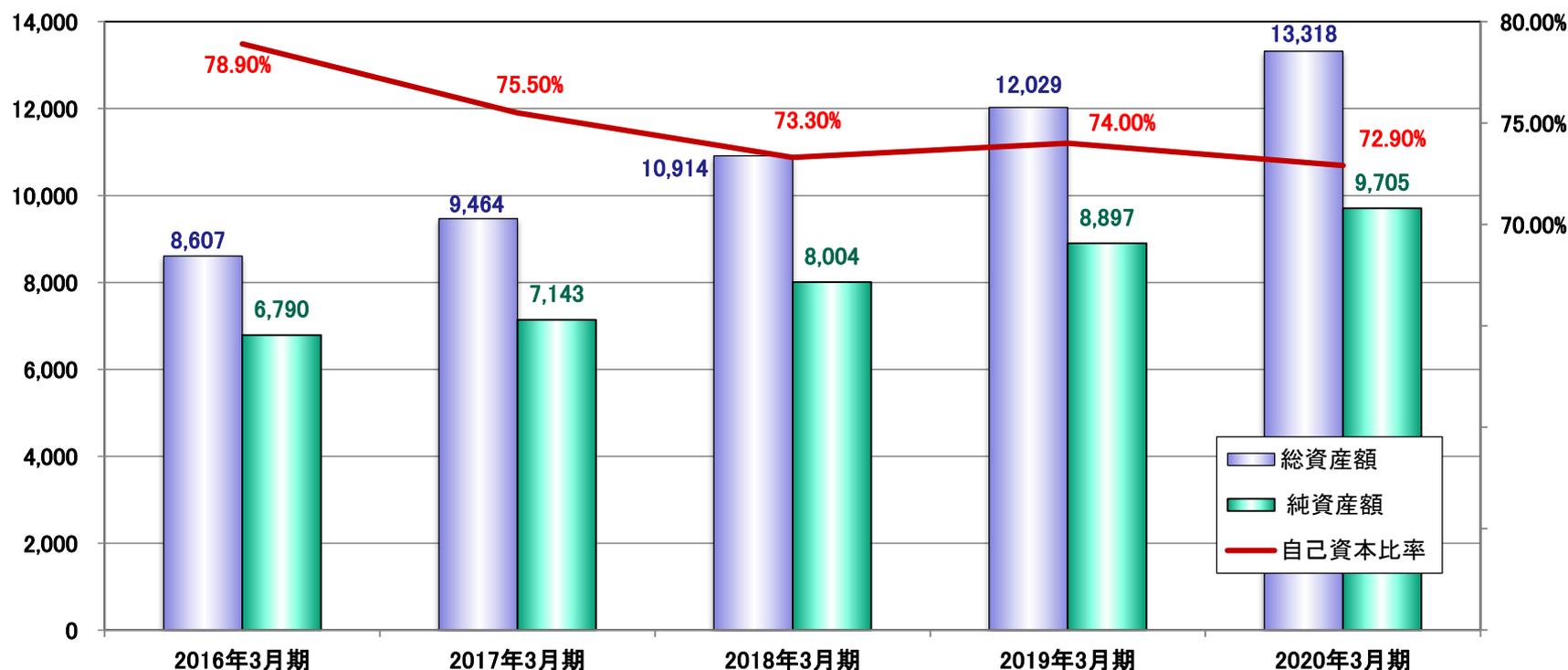
1-1 売上推移(単体)



1-1 自己資本比率(連結)

(単位:百万円)

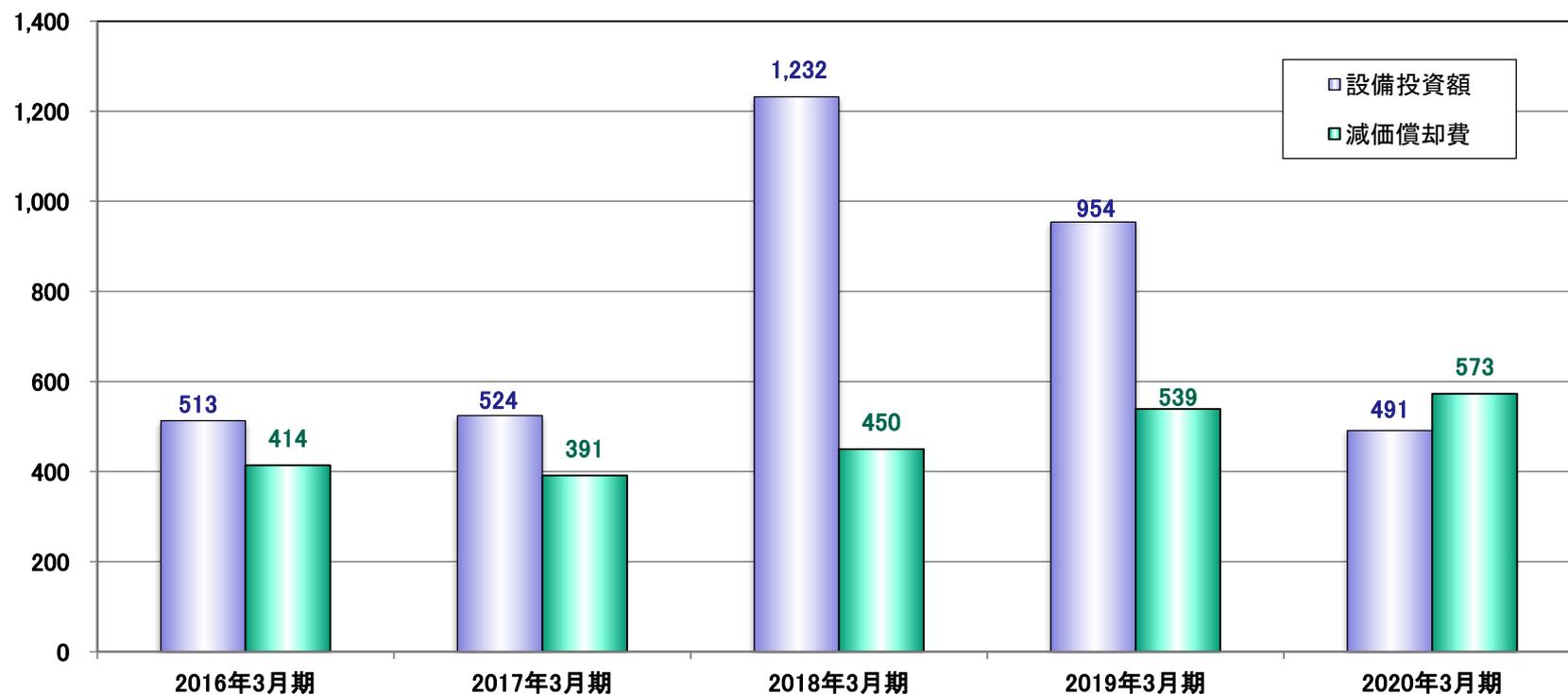
	2016年3月期 (第40期)	2017年3月期 (第41期)	2018年3月期 (第42期)	2019年3月期 (第43期)	2020年3月期 (第44期)
総資産額	8,607	9,464	10,914	12,029	13,318
純資産額	6,790	7,143	8,004	8,897	9,705
自己資本比率	78.9%	75.5%	73.3%	74.0%	72.9%



1-1 設備投資額・減価償却費(連結)

(単位:百万円)

	2016年3月期 (第40期)	2017年3月期 (第41期)	2018年3月期 (第42期)	2019年3月期 (第43期)	2020年3月期 (第44期)
設備投資額	513	524	1,232	954	491
減価償却費	414	391	450	539	573

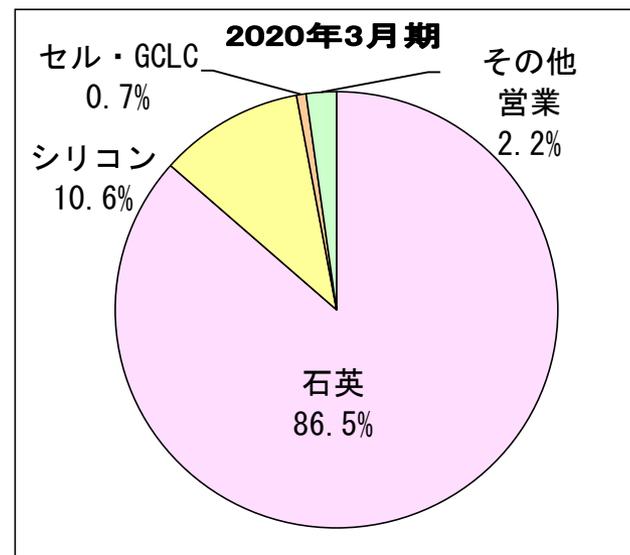
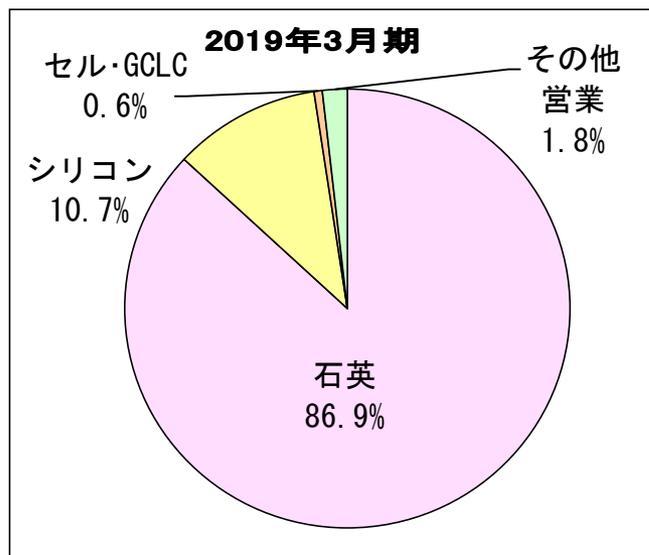


1-2 その他

製品別売上高

(単位:千円)

主要製品	2019年3月期			2020年3月期			
	売上高	構成比	前年比	売上高	構成比	前年比	
石英	7,924,591	86.9%	120.1%	7,855,468	86.5%	99.0%	
シリコン	972,550	10.7%	92.9%	964,908	10.6%	99.2%	
理化学機器	セル、GCLC	57,087	0.6%	87.3%	60,718	0.7%	106.4%
その他営業		167,173	1.8%	93.9%	201,659	2.2%	120.6%
総計		9,121,402	100.0%	115.7%	9,082,754	100.0%	99.6%

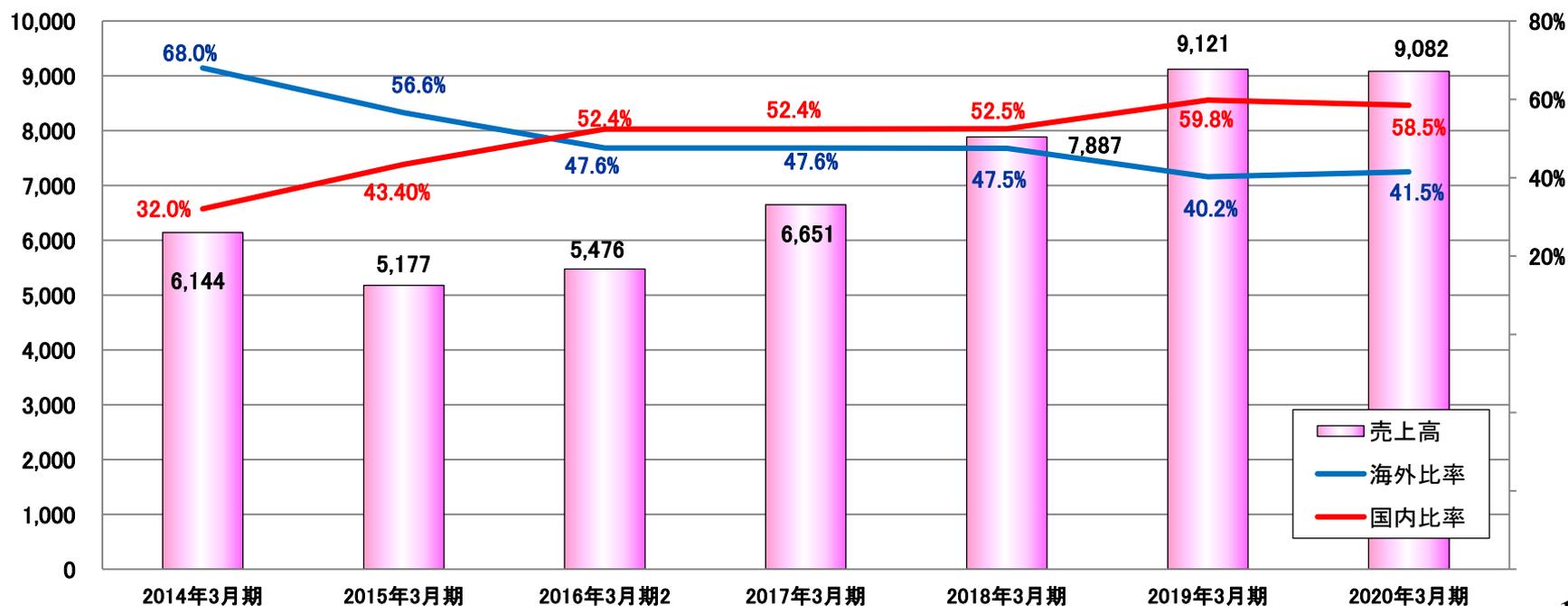


1-2 その他

海外売上比率の推移

(単位:百万円)

区 分	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率	合計	比率
国 内	3,483	52.7%	4,142	52.5%	5,453	59.8%	5,317	58.5%
海 外	3,168	47.6%	3,745	47.5%	3,668	40.2%	3,765	41.5%
合 計	6,651	100.0%	7,887	100.0%	9,121	100.0%	9,082	100.0%

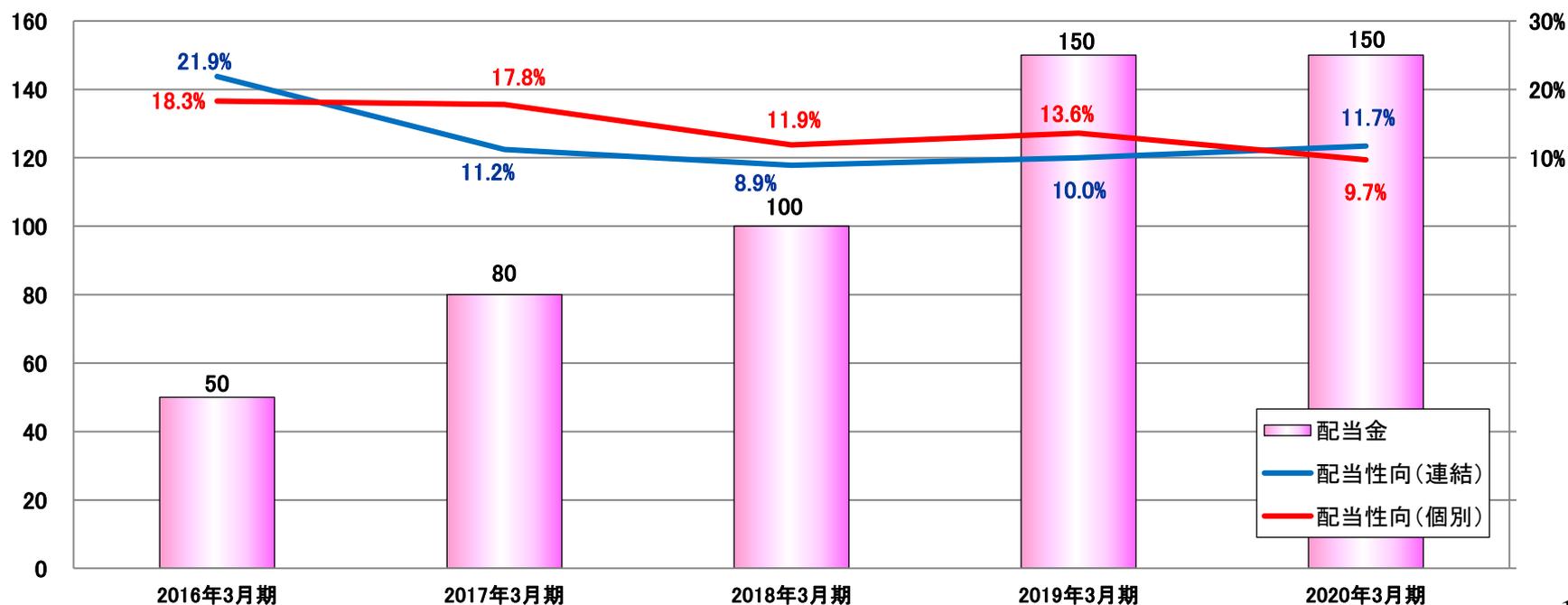


1-2 その他

配当金の推移

(単位:円)

	2016年3月期 (第40期)	2017年3月期 (第41期)	2018年3月期 (第42期)	2019年3月期 (第43期)	2020年3月期 (第44期)
1株当たり配当金	50.00	80.00	100.00	150.00	150.00
配当性向(連結)	21.9%	11.2%	8.9%	10.0%	11.7%
配当性向(個別)	18.3%	17.9%	11.9%	13.6%	9.7%



2. 2021年3月期業績予想

2-1 2021年3月期(第45期)業績予想

2-2 中期計画の推進 (2019年3月期～2021年3月期)

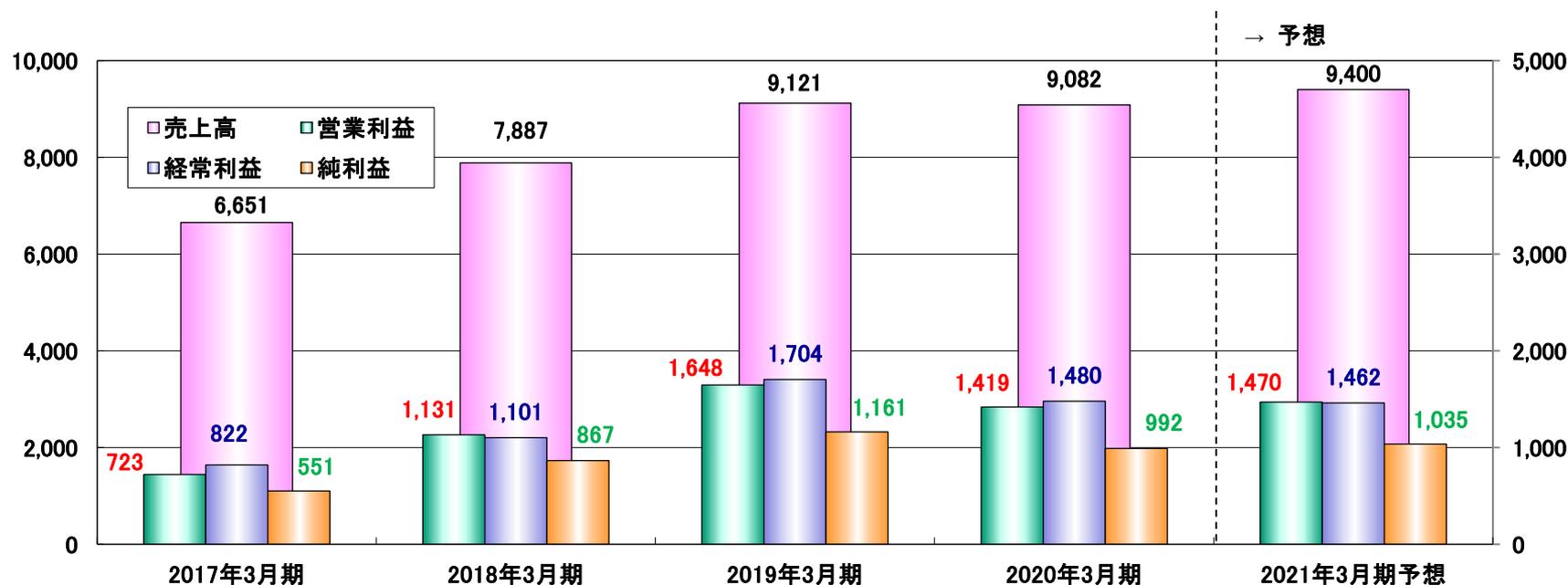
2-1 2021年3月期(第45期)業績予想

(単位:百万円)

	第2四半期		通期	
売上高	4,650	3.8%	9,400	3.5%
営業利益	720	△2.0%	1,470	3.6%
経常利益	716	△7.5%	1,462	△1.2%
純利益	506	△8.5%	1,035	4.3%

※2020年3月期決算短信の公表値

注) %表示 対前年同期比増減率



2-2 中期計画の推進 (2019年3月期～2021年3月期)

【4つの経営戦略】

製品開発

－ 石英・シリコンに次ぐ当社主力製品の構築 －

技術革新

－ 他社と差別化できる先進技術 －

生産革新

－ 圧倒的なコストダウン －

営業強化

－ グローバル/クリエイティブなニーズの発掘 －

【中期計画における2021年3月期の業績目標】

※2019年3月期スタート当初に設定している最終年度の計画値

	単体業績目標	連結業績目標
売上高	9,400百万円	10,000百万円
営業利益	938百万円	1,000百万円

2-2 中期計画の推進 (2019年3月期～2021年3月期)

【製品構成別売上計画・実績】

(単位:百万円)

	2018年 3月期 実績①	2019年3月期		2020年3月期		2021年 3月期 計画②	比率 ②／①
		計画	実績	計画	実績		
機械加工石英	4,731	5,140	5,722	5,890	5,334	6,640	140.3%
機械加工 シリコン	1,018	1,074	972	1,074	964	1,074	115.8%
石英火加工	1,388	1,608	1,720	1,608	1,928	1,608	115.8%
新規製品	438	420	438	420	531	420	95.8%
理化学機器	65	66	57	66	60	66	101.5%
商品	247	192	211	192	262	192	77.7%
合計	7,887	8,500	9,121	9,250	9,082	10,000	126.7%

3. 半導体市場予測

世界の地域別半導体市場規模

出所:WSTS2019秋季半導体市場予測

SEAJ2020年1月日本製装置販売高予測

IC Insights

VLSI Research

2019年半導体メーカー売上ランキング

2019	2018	企業名	国名	売上高 (百万ドル)
1	2	インテル		65,793
2	1	サムスン エレクトロニクス		52,214
3	3	SK Hynix		22,478
4	4	マイクロンテクノロジー		20,056
5	5	ブロードコム		15,293
6	6	クアルコム		13,537
7	7	TI		13,230
8	8	STM		9,017
9	12	キオクシア		8,797
10	10	NXP		8,745

資料: IC Insights

2019年半導体装置メーカー売上ランキング

2019	2018	企業名	国名	売上高 (百万ドル)
1	1	アプライド マテリアルズ		13,468
2	2	ASML		12,770
3	3	東京エレクトロン		9,552
4	4	ラムリサーチ		9,549
5	5	KLAテンコール		4,665
6	6	アドバンテスト		2,470
7	7	スクリーン		2,200
8	8	Teradyne		1,553
9	10	日立ハイテクノロジーズ		1,533
10	13	ASMI		1,261

資料: VLSI Research

世界の地域別半導体市場規模

(単位:億米ドル)

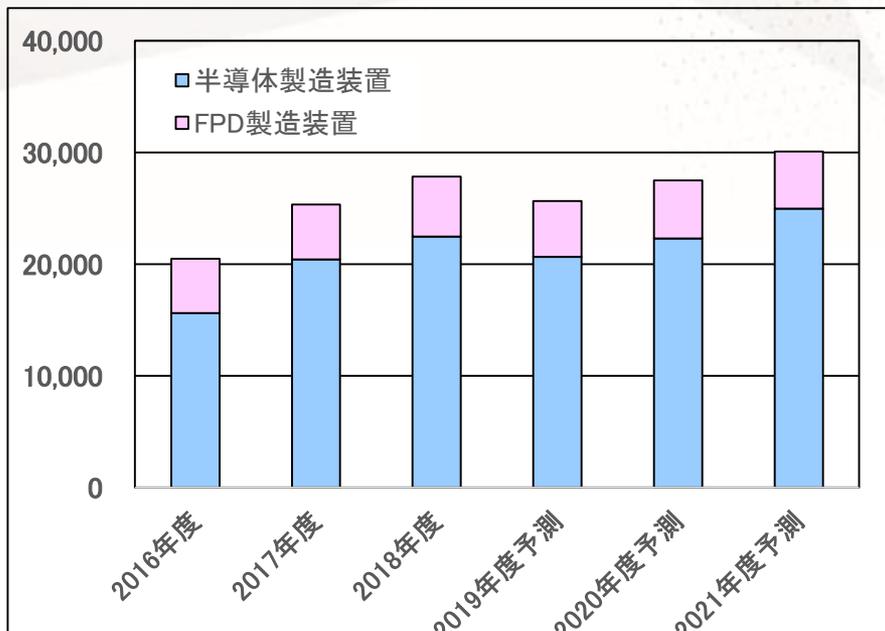
	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
米州	543	614	693	687	655	884	1,029	754	807
欧州	331	348	374	342	327	383	429	400	409
A/P	1,629	1,744	1,942	2,010	2,083	2,488	2,828	2,579	2,746
日本	410	347	348	311	322	365	399	355	366
合計	2,915	3,055	3,358	3,351	3,389	4,122	4,687	4,089	4,330
前年比	97.3%	104.8%	109.9%	99.8%	101.1%	121.6%	113.7%	87.2%	105.9%

資料:WSTS 2019年秋季半導体市場予測

※上記WSTS予測は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮していないため、今後の予測値は変動する可能性があります。

市場環境

日本製装置販売高予測 (単位:億円)

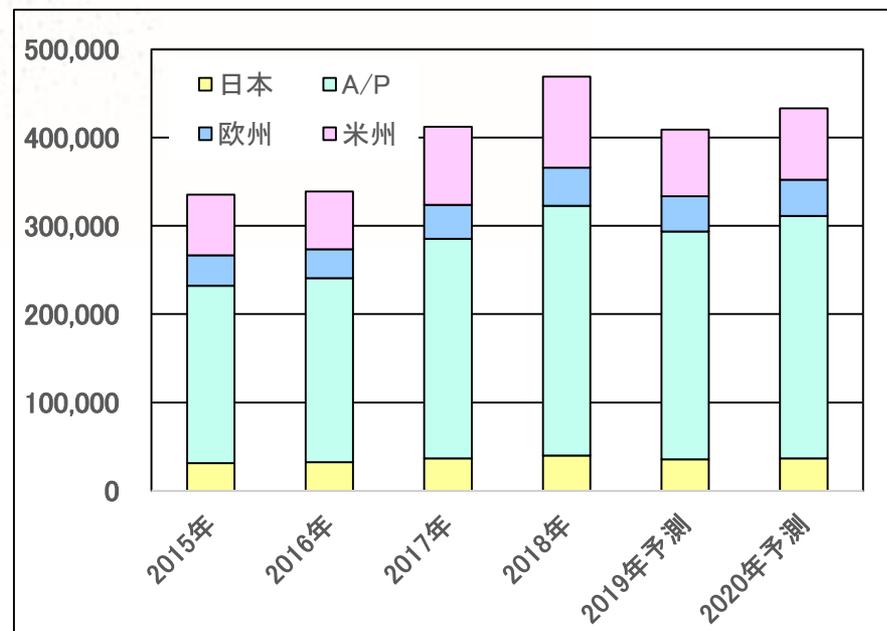


資料:SEAJ

■日本製装置販売高について、2019年度は半導体製造装置が前年度比8.1%減、FPD製造装置が同6.8%減、全体で7.8%減の2兆5,658億円となる見通し。2020年度は半導体、FPD共に緩やかな回復を見込み、全体で7.2%増の2兆7,511億円と予測。2021年度はFPDに不透明さは残るものの、半導体投資が本来の成長軌道に戻ると見て、全体で9.4%増の3兆89億円と予測。これは2018年度の2兆7,843億円を超える史上最高額となります。

■なお、上記SEAJ予測は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮していないため、今後の予測値は変動する可能性があります。

世界地域別半導体市場予測 (単位:億米ドル)



資料:WSTS

■世界半導体市場について、2018年は通年では前年比13.7%増と高成長でしたが、年後半は米中貿易摩擦等世界経済の先行き不透明感から市場は急激に悪化しました。2019年もこの流れを引き継ぎ、年初から半導体市場は前年割れで推移。スマートフォン等の実需低迷に加え、前述の先行き不透明感が根強く、急回復は期待できないことから、通年で同12.8%減と二桁のマイナス成長を予測。2020年は5Gの立ち上がりやデータセンター関連投資の回復、次世代ゲーム機の登場等に期待し、同5.9%増とプラス成長回帰を予測しています。

■なお、上記WSTS予測は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮していないため、今後の予測値は変動する可能性があります。

4. 中長期的な成長戦略

- ◇ 米国・中国・韓国・台湾を中心に更なる事業の拡大
- ◇ 加工技術の開発推進及び設備の充実化
- ◇ 独自のコア技術の強化・育成、新規分野への参入及び付加価値ある製品の創造
- ◇ 品種拡大による他社との差別化
- ◇ 製造原価の低減、生産性の向上及びデリバリー改善

5. 新型コロナウイルス感染症対策

＜弊社の対応＞

日々変化する状況に応じて、お客様、従業員およびその家族の安全確保・感染予防、感染拡大防止を最優先とする方針のもと、事業継続に向けた対応を随時実施しております。

現在、お客様に対しましては、各種オンラインシステムを活用した商談や営業活動を行っております。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ、お客様からのご注文への対応、商品出荷対応等は、通常通り実施しております。

また、社内におきましては、従業員に対し、在宅勤務および時差出勤の導入、出張の制限等を行っているほか、事業部門ごとに事業の継続に向けたコンティンジェンシープランを策定しております。

＜事業面の影響＞

当初は、海外との間で原料調達や製品出荷に一部影響が出ていたところもありましたが、現時点では、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響は軽微です。なお、今後、業績に重大な影響を及ぼす事象が発生した場合には、適時に開示いたします。



〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2

ハーモニータワー

TEL: 03-5354-8171

FAX: 03-5354-8191

<http://www.techno-q.com/>